

世界の気候と文化プリン ト

名前

問1 熱帯の特定の地域に見られる、雨季に成長する丈の長い草原に、乾燥に強い樹木がまばらに生える景観を説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。(2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. サバナと呼ばれる、雨季と乾季の影響を受けた植生
2. ジャングルやセルパと呼ばれる、一年中雨が多い密林
3. ステップと呼ばれる、短い草が広がる乾燥した平原
4. タイガと呼ばれる、冬の寒さに強い針葉樹林の広がり

問2 西アジアや北アフリカの諸国において、共通して見られる文化的な特色や背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2021年 福岡県公立入試 類似)

1. 聖典であるコーランに基づき、礼拝や断食、特定の食品の摂取禁止などの教えが生活に定着している。
2. カースト制度と呼ばれる身分制度の歴史的な影響が、現在の職業選択や結婚に強く残っている。
3. 東南アジアから伝わった大乘仏教が、乾燥した気候に適応した独自の寺院文化を発展させた。
4. ヨーロッパ諸国の植民地支配を受けた影響で、現在は住民のほとんどがキリスト教を信仰している。

問3 中央アジアなどの丈の短い草原が広がるステップ気候の地域において、伝統的に「ゲル」と呼ばれる移動式住居が使われてきた理由として、自然環境と生活の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2018年 熊本県公立入試 類似)

1. 家畜のえさとなる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため
2. 夏に発生する激しい集中豪雨による洪水から逃れるため、標高の高い場所へ頻繁に移動するため
3. 年間を通して気温の変化が激しいため、季節ごとに最適な気温の地域へ都市ごと移動するため
4. 農作物の収穫が終わるたびに、新しい耕作地を求めて遠く離れた地域へ移住するため

問4 一年を通して月平均気温が28度前後と高く、降水量も非常に多い熱帯雨林気候の地域で見られる、伝統的な木造住居の構造に関する説明として最も適切なものはどれですか。(2024年 秋田県公立入試 類似)

1. 床を高くすることで風通しを良くし、地面からの湿気の影響をやわらげる工夫
2. 床を低くして地面に密着させることで、地面の冷たさを室内に伝える工夫
3. 壁を厚い石やレンガ造りにすることで、外の熱気が室内に伝わるのを防ぐ工夫
4. 窓を極端に小さく設計することで、外からの強い日差しと熱風を遮断する工夫

問5 ナイジェリアの宗教構成とその分布に関する説明として、地理的・歴史的背景を踏まえたものを選びなさい。(2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 北部にイスラム教、南部にキリスト教を信仰する人々が多く、地域によって信仰が分かれている。
2. 国民のほとんどがイスラム教徒であり、キリスト教を信仰する地域は存在しない。
3. 古くから仏教の教えが広まり、国民の約半数が仏教徒である。
4. かつてスペインの植民地だった影響で、国民のほとんどがカトリックを信仰している。

問6 キリスト教の普及や習慣に関する記述として、ヨーロッパのイタリアや北アメリカのメキシコの事例に触れたものとして正しいものはどれか。(2021年 神奈川県公立入試 類似)

1. イタリアにはカトリックの総本山があり、メキシコもスペイン支配の影響でカトリック教徒が多い。
2. イタリアはイスラム教の聖地として知られ、メキシコはコーランを教典とする人が多い。
3. イタリアはプロテスタントの発祥地であり、メキシコは仏教の影響を強く受けている。
4. イタリアとメキシコは共にイスラム教の礼拝を重視し、金曜日には多くの人が寺院を訪れる。

問7 イスラム教が広く浸透している地域の生活文化について、宗教施設の役割や特徴を説明した文として最も適切なものを選びなさい。(2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. モスクと呼ばれる施設が信仰の拠点となり、信者はそこで一日に数回の礼拝を行う。
2. 教会と呼ばれる施設に集まり、日曜日を中心にミサや典礼を行うことが生活習慣となっている。
3. 特定の建物は持たず、ガンジス川のような聖なる川に集まり沐浴を行うことが最大の義務である。
4. 寺院を建立して仏像を安置し、僧侶を中心に厳しい修行を行うことが社会の基盤となっている

問8 赤道付近の熱帯地域で見られる農業の特徴について、この地域で多く栽培されている作物の性質と用途の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2023年 愛媛県公立入試 類似)

1. 高温多湿な環境に適したキャッサバというイモ類が、食用やタピオカの原料として栽培されている。
2. 冷涼な気候を好むジャガイモが、標高の低い平野部で主食として大規模に栽培されている。
3. 乾燥に強い小麦が、輸出を目的として熱帯雨林を切り開いた広大な農地で栽培されている。
4. 夏に雨が少ない気候を利用して、ぶどうなどの果樹栽培が最も盛んに行われている。

問9 開発途上国における安全な飲料水の利用状況について、二〇二二年のウガンダの統計では、住んでいる地域によって大きな差があることが示されています。この国内における格差の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。(2025年 群馬県公立入試 類似)

1. 都市部では安全な水を利用できる割合が高い一方で、農村部ではその割合が低くなっている。
2. 農村部では安全な水を利用できる割合が高い一方で、都市部ではその割合が低くなっている。
3. 都市部と農村部のどちらにおいても、人口のほぼ全員が安全な水を利用できている。
4. 周辺国との比較において、ウガンダは都市部・農村部ともに利用率が最も高い水準にある。

問10 ある地点の1月から12月までの月別平均気温を記録した統計において、折れ線グラフが年間を通じて25度から27度の範囲をほぼ水平に推移していることが確認されました。この地域の気温の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。(2015年 岡山県公立入試 類似)

1. 気温の年較差が小さく、四季の変化がほとんどない。
2. 気温の年較差が大きく、冬の寒さが非常に厳しい。
3. 高緯度地域に位置するため、年間を通じて気温が低い。
4. 夏と冬で気温の差が激しく、降水量によって季節が決まる。

問11 アマゾン川流域などの熱帯地域で伝統的に行われてきた焼畑農業において、数年ごとに耕作地を移動させる理由として、最も適切な説明はどれですか。(2020年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 数年間の栽培によって土地の養分が低下し、収穫量が減少するため
2. コーヒーや天然ゴムなど、輸出を目的とした商品作物を大規模に栽培するため
3. 大型の農業機械を効率よく動かすために、常に新しい平坦な土地が必要なため
4. 雨季の激しい降雨によって農地が水没し、同じ場所での栽培が物理的に不可能になるため

問12 ユネスコが実施している世界遺産の登録制度において、歴史的な建造物や遺跡などの「文化遺産」と、貴重な地形や生態系を持つ「自然遺産」の両方の価値を兼ね備えているものは何と呼ばれますか。(2024年 栃木県公立入試 類似)

1. 複合遺産
2. 無形文化遺産
3. 世界の記憶
4. 国際保護区

答え合わせ・解説

問1	答え 1 サバナと呼ばれる、雨季と乾季の影響を受けた植生	雨季には豊かな降水によって背の高い草が成長しますが、乾季になると雨がほとんど降らなくなるため、草は枯れ、樹木も乾燥に強いアカシアやバオバブなどが点在するのみとなります。このような植生が見られる地域は、アフリカ大陸の赤道周辺の外側などに広く分布しており、典型的なサバナ気候の景観を作り出しています。
問2	答え 1 聖典であるコーランに基づき、礼拝や断食、特定の食品の摂取禁止などの教えが生活に定着している。	イスラム教が多数派を占める北アフリカや西アジアでは、アラビア語で書かれた聖典「コーラン」の教えが社会の規範となっています。一日に数回の礼拝や、ラマダン（断食月）の習慣、アルコールや豚肉の摂取禁止などが、乾燥した過酷な環境下での連帯感や社会秩序を維持する役割も果たしてきました。
問3	答え 1 家畜のえさとなる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため	ステップ気候の地域では降水量が少なく、一箇所に定住して農業を営むことが困難です。そのため、家畜に草原の草を食べ尽くさせないよう、また水を確保するために、広範囲を移動する「遊牧」という生活様式が発達しました。ゲルは木製の骨組みとフェルト（毛織物）でできており、短時間で解体・組み立てができるため、この移動生活に非常に適した構造になっています。
問4	答え 1 床を高くすることで風通しを良くし、地面からの湿気の影響をやわらげる工夫	熱帯の高湿多湿な環境では、暑さへの対策だけでなく、湿気による不快感や建物の腐食、害虫などを防ぐことが重要です。床を高く作る「高床式」の住居にすることで、床下の空間を風が通り抜け、湿気がこもるのを防ぐとともに、室内の温度上昇を抑えることができます。これは乾燥帯で見られる石造りの住居などとは異なる、気候に適応した人々の暮らしの知恵です。
問5	答え 1 北部にイスラム教、南部にキリスト教を信仰する人々が多く、地域によって信仰が分かれている。	ナイジェリアでは、サハラ砂漠を通じた交易の歴史から北部にイスラム教が広まり、一方で海岸に近い南部ではヨーロッパの影響を受けてキリスト教が広がりました。この宗教分布の差異は、現在のナイジェリアの文化や社会、さらには政治的な対立や協力関係を理解する上で非常に重要な要素となっています。メキシコなどラテンアメリカ諸国と混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 1 イタリアにはカトリックの総本山があり、メキシコもスペイン支配の影響でカトリック教徒が多い。	イタリアのローマ市内には、カトリックの総本山であるバチカン市国が存在しており、ヨーロッパにおける信仰の中心地の一つです。また、メキシコは16世紀以降、スペインの植民地となったことでカトリックが広く浸透しました。これらの国々は共通してキリスト教文化が深く根付いています。
問7	答え 1 モスクと呼ばれる施設が信仰の拠点となり、信者はそこで一日に数回の礼拝を行う。	イスラム教徒にとって礼拝は「五行（信仰の実践事項）」の一つであり、非常に重視されています。その礼拝や集会を行うための場所がモスクです。キリスト教の教会、ヒンドゥー教のガンジス川、仏教の寺院といった他の宗教の特色と区別することが重要です。
問8	答え 1 高温多湿な環境に適したキャッサバというイモ類が、食用やタピオカの原料として栽培されている。	世界の諸地域における農業は、その土地の気候条件に強く依存しています。熱帯地域では、年間を通じて気温が高く降水量も多いため、こうした気候に適したキャッサバなどのイモ類や米、バナナなどが栽培されます。キャッサバはそのまま食用にするだけでなく、デンプンを抽出して様々な食品に加工されるため、地域の経済を支える重要な作物となっています。
問9	答え 1 都市部では安全な水を利用できる割合が高い一方で、農村部ではその割合が低くなっている。	ウガンダなどの開発途上国では、水道などのインフラ整備が人口の多い都市部に集中しやすく、農村部では整備が遅れているため、同じ国内であっても安全な飲料水を利用できる人口の割合に大きな差、すなわち「都市と農村の格差」が生じています。これは持続可能な開発目標（SDGs）においても、居住地域に関わらずすべての人に安全な水を提供することが重要な課題とされています。
問10	答え 1 気温の年較差が小さく、四季の変化がほとんどない。	月別平均気温の推移が水平に近いということは、月ごとの気温差がほとんどないことを意味します。このような状態を「年較差が小さい」と表現します。赤道に近い熱帯収束帯の影響を受ける地域では、日本のような明確な四季（春夏秋冬）による気温の変化は見られず、一年中が「夏」のような気候となります。
問11	答え 1 数年間の栽培によって土地の養分が低下し、収穫量が減少するため	焼畑農業で得られる灰の肥料成分は、熱帯特有の激しい雨によって流されやすく、短期間で土地がやせてしまいます。そのため、土地の地力を回復させる休耕期間を設ける必要があり、農民は数年ごとに別の森林や草原を切り拓いて移動します。これに対し、大規模な資本を投じて輸出用作物を育てるのはプランテーション農業、機械化による大規模生産は企業的穀物農業の特徴です。
問12	答え 1 複合遺産	世界遺産は、その特徴によって大きく3つに分類されます。芸術や歴史的な価値を持つ「文化遺産」、地学的な特徴や生物多様性を持つ「自然遺産」、そしてその両方の価値を持つ「複合遺産」です。いずれも将来の世代へ引き継ぐべき、顕著な普遍的価値を持つものとしてユネスコにより登録されます。